

観智院

この東寺の支院は、14 世紀から東寺の勧学院であった。寺院はもともと、真言宗の僧であり学者であった杲宝（1306-1362）によって建てられた。現在の建物は、杲宝が建てた寺が地震によって倒壊した後の 1605 年に建てられた。密教の膨大な聖經類を保存し、有名な剣士であり芸術家の宮本武蔵（1584-1645）の 2 つの襖絵で知られている。

武蔵による 2 つの襖絵は、竹が描かれている絵と鷲たちが獲物を捕まえる準備をしているような絵である。この剣士は日本の歴史ドラマや書物で最も有名な人物の 1 人で、ある決闘に勝利した後に観智院に滞在したと言われている。

観智院の倉庫には、日本で最大の密教の經典類のコレクションが保存されている。観智院の客殿は国宝に指定されている。